

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2012
5

交通安全年間スローガン一般部門(内閣府特命担当大臣賞)
歩行者・自転車利用者に対するもの

自転車も 安全速度と 気配りを



一日警察署長として「交通安全パレード」に参加する石坂県協会会長

ハンドルキーパー運動推進中!

飲酒運転根絶!!

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(4月末)

◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成24年		11,611	47	13,758	県人口	9,052,730	4,535,813	4,516,917
平成23年		12,275	49	14,559	免許人口	5,527,756	3,223,124	2,304,632
増減数		-664	-2	-801	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人
増減率		-5.4	-4.1	-5.5				

(県人口は平成24年4月1日、免許人口は平成24年3月末)

春の全国交通安全運動実施結果

4月6日(金)から15日(日)までの10日間、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本に実施した春の全国交通安全運動では、期間中の発生件数、死者数、傷者数ともに減少、発生件数の約3割、死者数の半数が二輪車の関係する事故でした。

●期間中の県下の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)
本年	968	4	1,102
前年同期比	-51	-3	-88
増減率(%)	-5.0	-42.9	-7.4

●期間中の全国の交通事故死者数、ワースト順位

順位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	全国	
都道府県	京 都	東 京	福 岡	愛 知	北 海 道	宮 城	茨 城	神 奈 川	静 岡	兵 庫	和 歌 山	全 国
死者数	12	8	7	6	5	5	5	4	4	4	4	118
前年同期比	+9	±0	+5	-2	+4	+3	±0	-3	-3	±0	+3	-18

●4/10「交通事故死ゼロを目指す日」のキャンペーン

山手、南、神奈川、旭、港南、港北、緑、青葉、栄、瀬谷、高津、宮前、麻生、田浦、浦賀、葉山、逗子市、茅ヶ崎地区、平塚市、大磯地区、秦野市、伊勢原、厚木署管内、座間、相模原、相模原南、相模原北等の各地区交通安全協会では各地区の駅前、商店街、大型スーパー、主要交差点等において、タレントなどに1日警察署長を委嘱して通行者(車)にチラシやティッシュ等のグッズを配布するなど交通安全、「交通事故死ゼロ」を呼びかけました。



相模原交通安全協会

※4/10 本県の交通事故死者数0人(全国11人)

～春の全国交通安全運動で 石坂会長が1日警察署長～

県協会の石坂会長は4月8日午前、青葉警察署において1日警察署長の委嘱を受け、青葉区で開催された「第10回青葉チューリップまつり」会場において、開会式、チューリップ摘み、ランドセルカバー贈呈式に出席し、東日本大震災復興支援の一環としての復興ブース激励を行った後、オープンカーで交通安全パレード(表紙写真)に参加、午後からは慶應大学日吉キャンパスにおいて開催された交通安全シンポジウムにパネリストとして参加するなど、この日は朝早くから夕方遅くまで大奮闘、春の全国交通安全運動を大いに盛り上げました。



自転車マナーアップ強化月間

1 目的

自転車の交通事故を防止する運動を県民総ぐるみで展開し、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、自転車の交通事故防止の徹底を図ります。

2 期間

平成24年5月1日(火)～5月31日(木)の1か月間

3 スローガン

自転車も のれば車の なかまいり

4 重点

交通ルールの遵守とマナーの向上



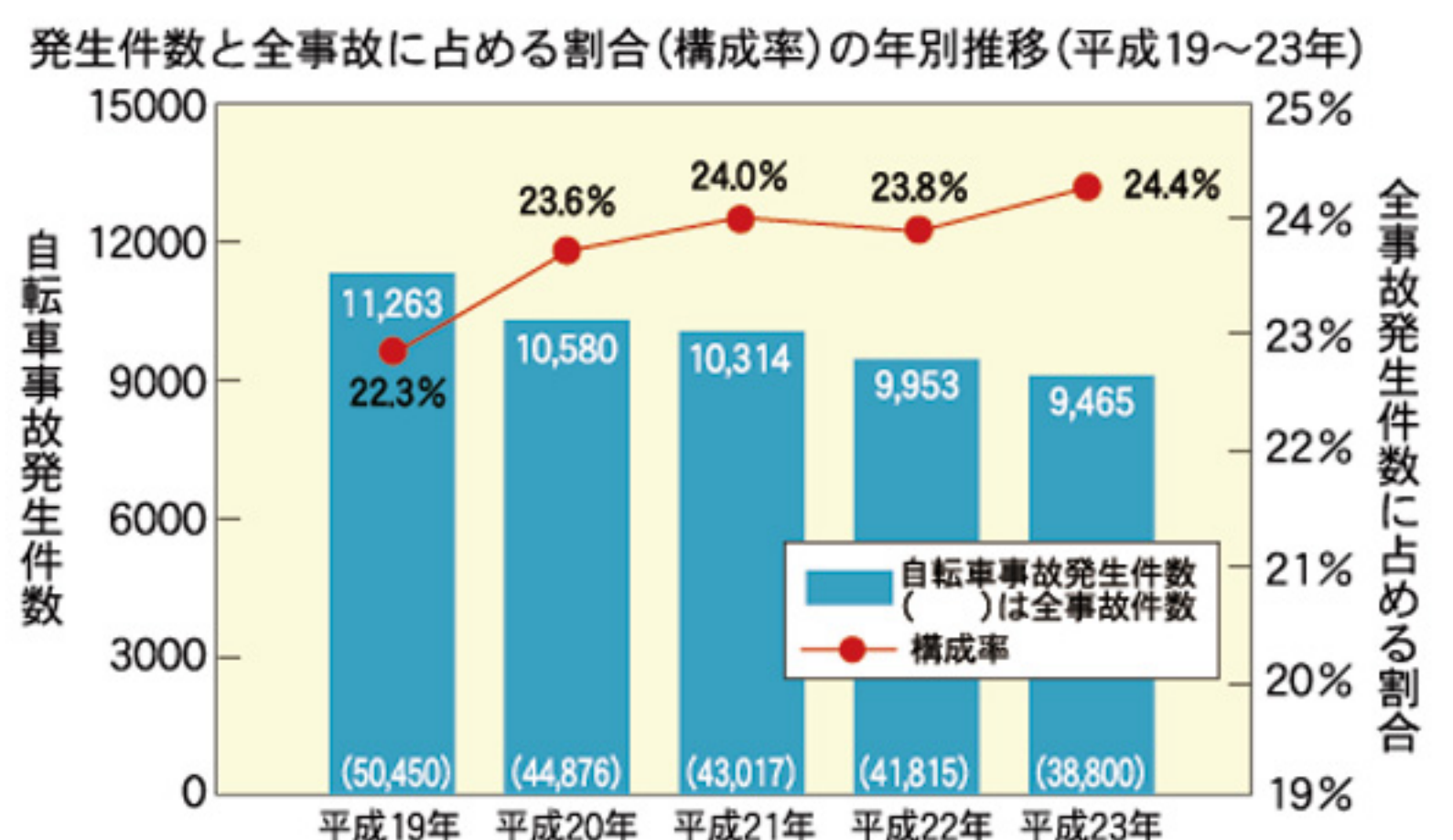
自転車利用者の取り組み方

- 信号を守り、一時停止場所では必ず停止し、左右の安全を確かめて通行しましょう。
- 二人乗り、携帯電話をしながらの運転、夜間の無灯火運転はやめましょう。
- 自転車の通行が認められている歩道では、徐行をして歩行者の安全を確保しましょう。
- 進路を変更するときは、必ず周囲の安全を確認しましょう。
- 悪天候の時は、なるべく利用を控えましょう。
- 日頃からブレーキや前照灯等の点検を励行しましょう。

5 交通安全協会の推進事項

- キャンペーンやイベントなどの開催により、運動への参加・協力を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。
- 交通指導員や各種団体構成員による街角アドバイスを積極的に実施し、「交通安全ひとこえ運動」を推進します。

自転車の交通事故発生状況



○自転車事故発生件数は年々減少していますが、全事故発生件数に占める割合は年々高くなっています。

《いそいでも自転車大会への取り組み》

小田原交通安全協会事務局長 川辺達之

最初に取り組むのは、一番難題であります訓練選手の選抜です。大会取り組み当初は、選手としてめばしい児童の家庭を訪問し、大会の趣旨を説明した上で保護者の理解、承諾を得て勧誘していましたが、辞退されることも多く、毎年同様に勧誘することは大変なことから訓練指導者が協議を重ねました。

その結果、訓練や大会参加に対する選手候補者本人や保護者、学校関係者等の理解が得られ易いことから、過去の大会選抜選手の兄弟や姉妹を通じて勧誘するという方針



の下、4年生以上、クラブ活動や塾などに属していないことを条件として選出したところ、スムーズにクリアすることができました。

さて、訓練選手が決まりましたら、その後は大会へ向けての計画的な訓練です。

技能走行訓練は、学校の協力を得て体育館を借用し、4月下旬から毎朝7時から8時まで実施します。指導者は必要な用具を体育館に事前に準備した上で6時30分に集合し、コースづくりを行い、マンツーマンで厳しくも親切丁寧に指導を行い、8時の終了時には選手と指導者が一緒にコースの後片付け、明日の準備をして終わるといふパターンです。安全走行訓練については、主に土、日など学校の休日を利用して訓練を行っています。

学科の勉強は、もっぱら学校の授業終了後で、指導者の自宅を借りて過去の問題や想定問答を作成してテスト形式で行い、最後の答え合わせの時に、間違いやすいミスなどについて解説しながら行います。

いずれにしても、選手のやる気が肝心であり、そのために

も警察署、会長、事務局が一体となり、監督や指導者の意欲を盛り上げ、その指導力に期待することが大きく、また、学校関係者、保護者の理解と協力を得ることに努力することが不可欠であります。

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名表彰

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名の表彰式が5月18日(金)、埼玉浦和市内のホテルで行われます。本県の受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略)

受賞おめでとう いっしょに喜びます

交通安全功労者

- 山口和昭(加賀町)門間勇二(金沢)置田光男(南廣瀬久男(伊勢佐木)小林紀代子(戸部)松浦泰弘(鶴見)田辺精二(港北)和田鎮男(中原)大貫弘隆(高津)井田康夫(宮前)蓬田亨(多摩)村野二雄(麻生)外崎信二(横須賀)小川登喜男(三浦市)植木謙治(藤沢市)森勝代(藤沢北)舩島年勝(平塚市)和田欣也(大磯地区)細川眞良(小田原)清水正明(足柄地区)大庭忠衛(秦野市)天野要(伊勢原)曾根寿二(座間)山

本幸次(海老名市)増田紘(相模原南)

優良交通安全協会

- 旭交通安全協会 (会長 飯田百二) 葉山町交通安全協会 (会長 石郷岡重臣)

大磯地区交通安全協会

(会長 脇 環)

相模原北交通安全協会

(会長 吉田實)

交通安全協会優良職員

- 細谷貴史(横浜市) 柳下一貴(茅ヶ崎地区) 小貫富夫(大和綾瀬)

平成24年度第1回 グッドライダーミーティングの開催

ものです。

今年度第1回目は、4月21日(土)神奈川県自動車運転免許試験場において開催され、50名の参加がありました。

参加者は、日頃運転している自分の二輪車を持ち込み、入門クラスとステップアップクラスに分かれて、二輪車特別指導員から乗車姿勢等安全運転の基礎知識の講義を受けた後、ブレーキ操作、一本橋、パイルスラローム、スラローム走行等についてアドバイスを受けていました。



体験型実技講習を通じて

安全運転技能の向上を図り、交通ルールとマナーの遵守を重んじるグッドライダーを育成して、安全な二輪車の利用を促進するため、神奈川県二輪車安全運転普及協会の主催により毎年度5回開催する



交通安全シンポジウム開催

～長寿社会の交通安全はどうあるべきか～

春の全国交通安全運動期間中の去る4月8日(日)慶應義塾大学日吉キャンパスにおいて、

●コーディネーター

公益財団法人国際交通学会……………専務理事 石附 弘氏

●パネリスト

- ・神奈川県知事・神奈川県交通安全対策協議会……………会長 黒岩祐治氏
- ・神奈川大学工学部経営工学科……………講師 堀野定雄氏
- ・神奈川県交通安全母の会連合会……………会長 市村小夜子氏
- ・神奈川県警察本部……………本部長 久我英一氏
- ・公益財団法人神奈川県交通安全協会……………会長 石板浩二氏

による長寿社会を明るく元気に過ごすための安全で安心な道路交通について考えるシンポジウムが開催されました。

シンポジウムでは久我氏から交通事故の現況、特徴、更にトラフィック、自転車関連ではチリリタイム、チリリンスクールの対策等、堀野氏からは身近な自転車のひき逃げ事故、タクシーとバイクの事故事例におけるヒューマンエラー、ドライブレコーダーの必要性等、市村氏から母の会の生い立ち、活動、セーフティアドバイザーの必要性、道路環境の整備等、黒岩氏からは「命輝くマグネット神奈川」と交通事故減少の関連、急激な高齢化対策等の発言がありました。

当協会の石板会長からはヨーロッパの交通事情、交通事情の今昔、若さの秘訣、声かけによる事故防止等について発言があり、会場に参加した約300人が長寿社会における交通安全はどうあるべきかを考える場となりました。

またシンポジウムに先立ち、「スタートかながわ」の一環として桐蔭学園高校生による交通安全演劇が行われ、自転車と高齢歩行者の接触事故に関わるトラブルに警察官が登場して、自転車利用者の交通ルール遵守、マナーの向上について、笑いを交えながら分かりやすく呼びかけました。



シンポジウム

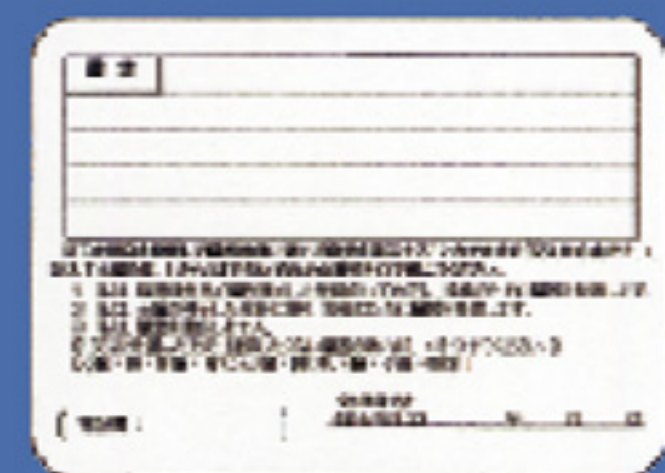


交通安全演劇

神奈川県警察からの運転適性相談窓口のご案内

- 下記の病気により、自動車等の運転に支障がある方は、**症状等によっては、運転免許証が取得できなかつたり、取り消されたりする場合があります。**
病気にかかっていること等により、自動車等の運転に不安がある方のための相談窓口を設けております。

- ・認知症 ・統合失調症 ・てんかん
- ・再発性の失神 ・無自覚性の低血糖症
- ・そううつ病 ・重度の眠気症状を呈する睡眠障害 ・その他運転に支障のあるもの



- 運転免許の取得及び運転免許証の更新の手続の際には、**運転免許申請書又は運転免許証更新申請書に設けられている「病状等の申告欄」に、正確に記載してください。**
※警察では、運転適性相談、病状等の申告欄等に関するプライバシーを、厳格に保護します。

●問い合わせ先

運転免許試験受験希望者の適性相談

運転免許本部 試験課 適性相談係 **045-363-7816**

運転免許更新申請希望者の適性相談

運転免許本部 免許課 審査第三係 **045-365-3111(代表)**



トピックス

『ゼロバッジ』で「交通事故死ゼロ」!

大和綾瀬交通安全協会(古郡保正会長)では、大和警察署員が昨年、大和警察署管内で交通死亡事故が連続333日「ゼロ」、年間の交通事故死者数が2人と、いずれも新記録を達成したこと、これからも悲惨な交通事故を「ゼロ」にしたいという意気込みで、ゼロと交通腕章を模してデザインしたシンボル「交通事故死ゼロを目指すバッジ(通称『ゼロバッジ』)」を作製したことを受けて、交通安全活動の強化と交通安全思想の普及のために、『ゼロバッジ』の着装を県交通安全協会等に広く呼びかけています。



県下初! 新型自転車シミュレーターによる自転車教室

神奈川交通安全協会(須藤照彦会長)では、警察署と連携して県交通安全協会からWiiを活用した新型の自転車シミュレーターを借用して、警察署を訪れる自転車利用者に対し、呼び込み式の自転車教室を開催し、自転車で街中を走行する想定等の映像を見ながら危険予測を学び、さらには交通ルールクイズなどにより楽しめる自転車交通安全講習を実施しました。



第14回「セーフティ・チャレンジ・かながわ」

「セーフティ・チャレンジ・かながわ」は、チーム単位で6カ月間の安全運転(無事故・無違反)にチャレンジしていただくコンクールです。達成したチームの中から抽選で旅行券をはじめとする賞品が当たりますので、奮ってご応募ください。

●申込期間

4月16日(土)～6月30日(土)まで。

●コンクール期間(無事故・無違反チャレンジ期間)

7月1日(日)～12月31日(月)

●応募要領

◇参加資格

・県内在住・在勤・在学または仕事等のため県内で自動車等を運転する者3人で

構成するチーム

・チーム全員が各都道府県公安委員会の自動車運転免許を受けていること。

◇参加区分

・一般チーム・年齢を問わず参加資格を有する3人で構成するチーム

・シルバーチーム・7月1日現在、全員が65歳以上の参加資格を有する3人で構成するチーム

※平成25年2月末に抽選：3月1日(金)、当選発表(予定)

◇参加費

1チーム1,890円(運転記録証明書発行手数料3人分の実費)

※お問い合わせ先(事務局)

神奈川県安全防災局安全安心部くらし安全交通課内

セーフティ・チャレンジ・かながわ実行委員会事務局

045-210-3552(直通)



参加者募集中

新任事務長を紹介 ～よろしくお願ひします～

【抱負】

本年4月から都筑交通安全協会の事務長に就任致しました嶋原でございます。

大和警察署を最後に、42年間勤務しました神奈川県警察を定年退職し、以前、都筑警察署に勤務していた関係で、当交通安全協会にお世話になることになりました。

都筑区は、港北ニュータウンとして作られた文字通り新しい街、若い年齢層が多く、土曜、日曜や休日となると買い物客が多く訪れるので、交通事故も年々多く発生しているところだ。

悲惨な交通事故の発生を1件でも少なくしようと、昼夜を分かたずボランティア活動に取り組んでいる交通安全協会役員、交通指導員、母の会等の皆様方が交通安全活動に取り組めるよう、微力ながらお役に立てるようこれからも努めていきたいと思っております。

【プロフィール】

福島県出身で妻と二匹の犬(ラブラドルとチワワ)と暮らしています。子ども達は独立してそれぞれ別に居住しています。

趣味は海釣りですが、現在は海にはほとんど行っておりません。休みの日に訪ねて来る孫から「つりに行こう。」とせがまれるので、もっぱら孫のお供で近くの釣り堀に行くのですが、最近では孫とのつりが待ち遠しく、楽しみになっています。



都筑交通安全協会 嶋原義弘事務長

【抱負】

初めまして。本年4月より港北交通安全協会の事務長に就任いたしました高橋と申します。

今まで会社で営業畑一筋だった私には、事務や経理の仕事は、何が分からないのか分からない状態で、役員をはじめ前事務長、スタッフほか周りの方々に支えられながら日々の業務をこなしています。

さて、私たちの地域はとても人口の多い地域であり、通勤のときや休日に街を歩いていると、ルール(マナー)無視の歩行者、自転車、車の多いことに気づかされます。区内でもお年寄りや自転車が絡む事故が増えてきています。

今年2月に区内環状2号線で死亡事故が起き、410日間続いていた「死亡事故ゼロ」が残念なことに途切れてしまいました。記録更新に向け、また新たなスタートです。

交通安全協会に携わるまではあまり気にとめることはありませんでしたが、この春は新1年生が黄色いランドセルカバーを付けて登下校する姿を見ては微笑ましく眺めています(変なおじさん?!ではありません!)。微力ではありますが、少しでも事故が少なく暮らしやすい地域になるよう努めていきたいと思っております。

【プロフィール】

横浜市港北区出身。休日は愛犬2匹(柴犬6歳、ひばり♀と裕次郎♂)を連れて近所の散歩から、ときにはキャンプ場へ泊まりがけも。たまには息子とも……。

趣味は秘湯めぐり、ゴルフ、バレーボール、スキー等、スポーツ全般です。



港北交通安全協会 高橋亨事務長

4月1日から「チリリン・スクール」始まる

～新たな自転車交通安全講習～

神奈川県自転車安全教育推進委員会では、自転車の安全な利用方法及び交通ルールとマナーの習得に加え、自転車の点検整備の促進とTSマークの普及を図るため、交通指導員や警察官等がマニュアルに基づいて4月1日から新たな自転車交通安全講習（「チリリン・スクール」）を実施することとしました。

本講習は、別に定めた「自転車交通安全講習実施要領」等に基づいて実施しますが、講習受講者には県自転車商協同組合に加盟し協賛する自転車店（「協賛店」）において、自転車安全整備士による点検整備の費用が割り引きされる特典を付した「講習受講済証「チリカ」」が交付されますので、受講者がその特典を利用することにより、自転車の点検整備と賠償保険制度（TSマーク）への加入が促進され、自転車に関わる交通事故の減少が期待されます。

チリカの特典として自転車の点検料は無料となりますが、修理費及びその部品代は実費であることを、受講者に説明し理解を得る必要があります。

現在各地区で実施している「自転車交通安全教室」等についても、基本的に本講習マニュアルの内容に沿うものであれば、その機会にチリカを発行することに支障はありませんので、今後の自転車安全教育は、可能な限り警察署と連携して本講習により実施するようお願いします。



チリカ(表)

～受講特典について～

- 1 この「チリカ」を、チリカちゃんマークのある自転車店に提示すると自転車安全整備士による無料点検が受けられます。(部品代・修理代は有料となります)
- 2 詳しくは、神奈川県警察又は神奈川県自転車協同組合のホームページをご覧ください。

交付団体名

交付責任者名

チリカ(裏)



マスコット「チリカちゃん」

その240 海老名市交通安全協会から

海老名市交通安全協会（佐久間幸志会長）では、警察署と連携して杉久保・上河内地区の飲食店を訪問し、飲酒運転根絶協力店ステッカーや飲酒運転追放ミニ提灯を配布しながら飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



ハンドルキーパー運動の紹介



その239 (公財) 神奈川県交通安全協会 神奈川県交通安全活動推進センターから

県交通安全協会（石坂浩二会長）では、平成23年度後期における各地区地域交通安全活動推進協議会によるハンドルキーパー活動32例を含む活動状況を登載した推進委員会報を発行しました。



～賛助会員の紹介～

公益財団法人神奈川県交通安全協会は、「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、さらなる公益性の高い交通安全事業を推進しています。

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。

- 三五紙業(株) ————— 川崎市幸区遠藤町
- 鶴岡八幡宮 ————— 鎌倉市雪ノ下
- (有)角喜 ————— 鎌倉市材木座
- (株)ジェイコム湘南 ————— 藤沢市辻堂神台
- 江ノ島電鉄(株)自動車部 — 藤沢市片瀬海岸



戸部交通安全協会
会長
大久保 満男さん

戸部交通安全協会は、昭和24年4月に発足しました。当安協のある西区は、横浜市中でも一番小さな区でありながら、昔ながらの市街地、巨大ターミナルの横浜駅、現在もお発展中のみなとみらい地区とさまざまな要素がいつぱい詰まっているところです。

必然的に道路も、箱根駅伝が通る国道1号線、16号、環状1号線…と狭い区内を幹線道路がひしめき合っています。今回は、この地で会長を務める大久保満男さんを紹介いたします。

大久保さんは、昭和53年に当安協理事に就任以来、常任理事、会計、副会長を歴任し、前会長の急逝に伴い会長代行を経て、平成10年5月に第5代会長に就任されました。

お気づきのとおり、発足から60年以上経っているにもかかわらず、大久保会長は5代目です。歴代の会長それぞれが長く当安協へ貢献されていることがお分かりでしょう。

さて、大久保さんは生まれこそ東京ですが、この西区で造花業を始め、冠婚葬祭の生花・花輪から葬祭場の貸しホールと時代を先取りしての経営をされ、一代にして多才極まりない経営力を発揮されておりました。その陣頭指揮ぶりが、当安協の運営にも役立っていることは言うまでもありません。また地元では長年自治会長をされ、地域貢献に惜しまず取り組み姿勢は周りからの信頼も絶大なものです。現在は、仕事も自治会長もお辞めになり、悠々自適の日々を送られている(役員は皆、会長が100%安協に傾注できると安堵し期待を寄せています)会長です。シルバード世代となりましたが、フットワークは抜群で、新入学生のランドセルカバ1等の祝い品の配布も区内全9校、役員と一緒に回ってくださいます。西区の隅から隅まで全てを知り尽くしている会長ならではの偉業です。

APECを機にみなとみらい地区でのキャンペーンや企業との連携も増えてきました。高齢化率の高い西区でしたが、この地区の発展により、この10年で若い世代を中心に人口が20%も増加しています。そしてまだまだ発展を続ける地区でもあります。

さらに、横浜駅周辺も再生に向けて西口駅ビル等の建て替え工事も始まりました。小さな西区ではありますが、これからの変貌は無量大です。それに伴い交通量も、生活車両・営業車両ともに増加傾向は免れないことです。古くからの地域との繋がりを大切にされている会長、戦後の急成長から平成の大変貌まで常にその時々を見据えた事故防止策を講じてきた会長の眼差しは、今、さらなる未来を捉えようとしています。(取材協力：戸部交通安全協会)

インフォメーション

- 二輪車交通事故防止及び暴走族追放強化月間：6月中
- 第3回定時評議員会
..... 6月20日
- 自転車県大会チーム責任者会議
..... 6月27日
- 地区事務長会議
..... 6月27日

こんにちは 「幸交通安全協会」です

幸交通安全協会は、昭和39年「御幸交通安全協会」として発足しましたが、昭和47年に川崎市が政令指定都市になり区制が敷かれて「幸交通安全協会」と名称変更しました。更に幸警察署の新築移転に伴い、当協会事務所の移転問題が発生し、幸警察署の付近での事務所用土地の確保に苦労しましたが、川崎市から幸警察署の隣接地の市場跡地の一部を借り受けて昨年6月新築移転し、現在は「一般社団法人幸交通安全協会」として業務を行っております。

幸区は川崎市南東部に位置し、川崎区、中原区、横浜市鶴見区、東京都の大田区と隣接し、川崎駅西口の開発や高層マンション等の

増加に比例して区の人口も毎年増加を続け、約15万500人が暮らしております。

当協会の問題点は会社の移転や廃業による事業所会員の減少と、川崎警察署での優良運転者への即日交付や高齢者会員の返納脱会等もあり、人口増加に反比例して免許会員の減少が続いているのが現状です。当協会は事務長とパート2名が交代で「常に明るく親切に」をモットーにお客さまに接し、合わせて会員加入をお願いしておりますが、年々減少傾向は続いております。交通安全協会の交通安全活動の原資は、会員皆様方の会費で成り立っていることを自覚し、今後は他の協会の知恵等を借りて事業所会員と免許会員の獲得・拡大を図っていきたいと考えております。

当協会では、山下会長以下副会



長3名、理事17名、交通指導員17名、地域交通安全活動推進委員21名等会員の皆様方を中心として交通安全日や各季の運動期間中におけるキャンペーン活動等をはじめ、交通安全活動全般に交通ボランティアとして積極的に参加し、警察署の指導のもと活発な活動を展開しているところであり、今後も区内から交通事故を防止するための活動を強化してまいります。

(鍋島 記)

地区交通安全協会の活動紹介

～春の全国安全運動～

北 港

小机城址まつりに合わせて春の全国交通安全運動パレードを実施し、「安全は心と時間のゆとりから」の横断幕を掲げるなど、交通事故防止を呼びかけました。



神 奈 川

相鉄バスなどの協力を得て、「みんなで確認、危険箇所、交通安全バスツアー」と銘打ち、昨年の死亡事故発生現場等を巡り、悲惨な事故の防止を確認、誓いました。(TVK放映)



川 崎

F.M.Yoko Hamadjiに1日警察署長を委嘱し、チネチッタ噴水広場で出陣式を実施した後、銀柳街から川崎駅東口までパレードを行い啓発物を配布しながら交通安全を呼びかけました。



瀬 谷

瀬谷町の海軍道路において、用意したウドを「交通事故シヤットアウド」として通行中のドライバーに配布しながら交通安全を呼びかけました。



多 摩

JR登戸駅前においてドラえもんに1日警察署長を委嘱し、登戸小学校スクールバンドが演奏する中、チラシを配布するなど「交通ルールを守ろう」などと呼びかけました。



中 原

警察署長から委嘱された区内の2小学校選出の「中原交通安全児童指導員」10名が、武蔵小杉駅前において、キャンペーンを実施し、交通安全を呼びかけました。



相 模 原 北

相模小学校で行われた入学式で新入学児童や保護者等にクリアファイル「あいうえお表」等の啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



座 間

相模中学校から小田急相模原駅までの通称「辰街道」において交通安全パレードを実施し、チラシ、キーホルダーなどの啓発物品を配布しながら交通安全を呼びかけました。



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

新緑や花が美しく感じられる季節になりました。5月5日のこどもの日には菖蒲をかざり、第2日曜日の母の日にはカーネーションの花を胸に差し、母の愛に感謝します。こんな季節には木漏れ日をあびてサイクリングでもしたくなる気持ちになるのは私だけではないと思います。健康志向の高まりや環境への配慮などにより自転車への注目が高まっていますが、それとともに自転車利用者のルール違反やマナーの悪さが大きな問題となつていきます。5月は「自転車マナーアップ月間」です。自転車に乗るときは自転車安全利用五則を必ず守りましょう。その五則とは、1、自転車は車道が原則、歩道は例外 2、車道は左側を通行 3、歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行 4、安全ルールを守る(★飲酒運転・二人乗り・並進の禁止) ★夜間はライトを点灯 ★交差点での信号遵守と一時停止・安全確認(5、子どもはヘルメットを着用、というものです。正しいルールを知り、被害者にも加害者にもならないように、安全に自転車を利用したいものです。

今年も第43回交通安全子ども自転車神奈川県大会及び第1回交通安全高齢者神奈川県大会を開催いたします。自転車のマナーを学ぶことが出来る良い機会です。各地区交通安全協会のみなさん奮ってご参加ください。

当協会も公益財団法人になって2年目に入りました。「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、さらなる公益性の高い交通安全事業を推進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

(Y・O記)